急性胃腸炎の患者さん　（入院診療計画書）

患者ID：　　性別：　　生年月日：　　病棟：　　病室：

患者氏名：　　病名：　　症状：☐ 腹痛　☐ 下痢　☐ 嘔吐　☐ 低血糖

入院日：　　☐（その他）

経過	1900/1/0 入院日	1900/1/1 退院日
患者目標	入院して安静にします	嘔吐が消失し、水分や食事が十分に取れること、全身状態が安定していることが確認できれば退院可能です
治療・処置	・点滴をします ・1日3回程度、体温、呼吸、心拍数などの測定を行います ・必要がある場合には、血糖値の測定を行います ・お熱が高く、つらい場合には解熱剤を使用することができます （解熱剤の使用間隔は6時間以上です） 	輸液治療を終了できるか検討します
活動	・基本的にベッド上で過ごして下さい ・トイレまでの歩行は可能です	・基本的にベッド上で過ごして下さい ・トイレまでの歩行は可能です
食事	医師が説明します	嘔吐が消失していれば、医師の指示により軽食から開始します
清潔	シャワー、体拭きはありません	
説明・指導	☐ 救急外来で、今後の経過の予測、および、経口補水療法についてお話します ☐ 必要な場合、抑制をさせていただきます ☐ 病棟内の説明をします ☐ 手洗い、排泄の処理の仕方について説明します	☐ 退院可能かどうか、また、食事について説明します ☐ 退院される方には再度、受診をした方が良い状態について説明します ☐ 看護師とともに忘れ物がないか確認します

「栄養管理/褥瘡対策」要判断			手術/検査日程および内容		
	☐ 特別な栄養管理の必要性			実施有無：	無　日程：
	☐ 褥瘡対策に関する計画の必要性			内容：	

主担当医氏名：　　印　　主担当医以外の担当者：

注）上記の内容・期間は現時点で考えられるものであり、今後状態の変化に応じて変わることが考えられます。

年　月　日　上記の説明を受けました。

患者・家族サイン：　　（続柄）

メモ：

2018/6/1　作成

2025/2/3　改訂